

平成28年度第1回狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

開催日時 平成28年9月28日（水）

午後1時30分～午後3時45分

開催場所 狭山市役所6階 603会議室

出席者 6名

欠席者 3名

市側出席者 総合政策部長、総合政策部次長兼基地対策課長、政策企画課長、
防災課長、商工業振興課長

議題等

1. 総合戦略施策の取組状況について
2. 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）に係る事業実施結果報告

質疑

（1）総合戦略施策の取組状況について

委員 それぞれの施策についても数値目標を掲げて進行したほうが良いのではないか。

市側 交付金を活用する場合は、事業ごとに数値目標を掲げているが、総合戦略においては、施策ごとに数値目標を掲げるのではなく、施策の方向性ごとに数値目標を掲げ、それを達成するための施策を挙げている。

委員 中間報告ということだが、未着手の施策は今年度中に検討を始めるのか。

市側 施策によっては、ひとつの施策が完了した後に、次の施策というものもあるが、実施に向けての検討は行っていきたい。計画期間5年間のなかでは着手したい。

委員 未着手の施策が多い。検討中のものを入れると半分手が付けられていない。未着手の理由と検討開始の時期は。

市側 5年間で進めていくスキームなので、施策の実施順序があり、優先順

位を付けざるを得ない。未着手の施策については、今年度中に検討し、施策の進行管理については、関係課と早期に協議を行いたい。また、すべての施策が交付金の対象となる訳ではないので、限られた予算のなかでの優先順位もある。

委員 「市内企業を市内学校のマッチング」で対象としている学生は。

市側 市内の高校生を対象として実施しているが、中学生、大学生、企業同士のマッチングも行っていきたい。

委員 今の若者は内向き志向であると感じている。こちらから積極的に働きかけを行うことは効果が高いと思う。

委員 「婚活セミナーの実施」については、シティプロモーションに繋がるよう、マスメディアの利用等も検討してほしい。

委員 出生率アップは地方創生に必須であり、特に若い人の考え方・感じ方を変える施策が必要であると感じている。フランスのように結婚にとらわれず子どもを設けるなど、根本的な価値観や発想の転換が必要ではないか。

(2) 地域活性化・地域生活等緊急対策交付金（地方創生先行型）に係る事業実施結果報告

～旧中央公民館等跡地利活用事業について～

委員 市民の話を聞く機会は設けたのか。

市側 ホームページによる周知に加え、8月には地元説明会も実施した。

委員 市の苦勞もわかるし、地元の意向もわかるが、この基本方針は現実的であると思う。ただし、ここ単体でなく、市民会館付近まで地域を広く考えるのもひとつのやり方ではないか。

委員 西口再開発により市の玄関が出来て、そこから先の七夕通り商店街まで人の流れをちゃんと作らないと、狭山市の賑わいは戻らないという前提があると思う。ここが最後の切札となる。意見交換にお

いて商業単体の事業提案があったのに、定住促進施設を立地するのか。

市 側 意見交換において商業単体の事業提案はあったが、実現性に乏しいものであり、その後、実際の進出は難しいので断念するということが確認された。公募はこれからなので、商業単体の提案も出てくる可能性がないとは言えない。

委 員 この面積では大規模商業の進出は見込めない。民間事業者ヒアリングによりニーズが確認できないため、商業用途への変更は行わないということだが、用途変更すべきではないか。

市 側 周辺道路を8メートルにしなければならないため、敷地が狭くなり、ますます進出が見込めない状況である。

委 員 中央図書館なども含めて考えたランドデザインが必要だったのではないか。パーツだけで考えるのではなく、もっと広域で考えつつ、色んな分野の意見を聞くべきだったのではないか。

～子どもを守る防災対策事業について～

委 員 ハザードマップによる防災教育は力を入れるべき。避難のすりこみは非常に大切である。ぜひ事業を継続してほしい。

委 員 子どもだけでなく、大人が見てもわかりやすい。子どもに配付すれば親も見ると思うので、有意義であると思う。自治会にも配布してほしい。

～観光ARマップ制作事業について～

委 員 アプリのダウンロードは手間がかかり、アクセスの困難さで利用者が減る。なぜQRコードを使用しないのか。

市 側 QRコードはインターネットのサイトへの誘導が主なものとなるが、情報・機能に限りがあるため、専用のアプリを使用し、より多く情報を提供したいので、ARマーカ―を使用した。

委 員 アプリのダウンロード数と今後の展開は。

市 側 ダウンロード数は、8月末で約1,300件である。今後の展開については、飲食やレクリエーションを載せたマップを作成していきたい。